

14 尿路上皮癌

※ レジメン名称を **クリック** または **Ctrl + クリック** してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、“現在のページを印刷する”を選んでください。

	分類	コード	レジメン名 称	備考
1	共通	14001-1A	M-VAC療法(側管)	
2	共通	14002-1A	TCG療法	
3	共通	14003-1A	MEC療法	
4	共通	14004-1A	CBDCA+GEM併用療法	
5	共通	14004-2A	CBDCA+GEM併用療法(Day8単回投与)	
6	共通	14006-1A	CBDCA+GEM(Low dose)併用療法	
7	共通	14007-1A	GCis(GEM+CDDP併用)療法	
8	科別(泌尿)	14009-1B	THP+CDDP動注化学放射線療法	
9	科別(泌尿)	14010-1B	M-VAC25%動注併用療法	
10	科別(泌尿)	14012-1B	MEC動注療法	
11	科別(泌尿)	14799-1B	(膀胱内注入)ピノルビン療法	
12	科別(泌尿)	14799-2B	外来用(膀胱内注入)ピノルビン療法	
13	共通	14014-1A	ペムプロリズマブ療法(尿路上皮)	
14	共通	14015-1A	ペムプロリズマブ倍量療法(400mg)(尿路上皮)	
15	共通	14016-1A	エンホルツマブ ベドチン療法	
16	共通	14017-1A	ニボルマブ療法(240mg)(尿路上皮)	
17	共通	14018-1A	ニボルマブ倍量療法(480mg)(尿路上皮)	
18	共通	14019-1A	エンホルツマブ ベドチン+ペムプロリズマブ	
19	共通	14020-1A	アベルマブ維持療法(尿路上皮)	

14001

膀胱・腎孟・尿管癌

M-VAC 療法(側管)

申請科

泌尿器科

H28.1 改訂 H30.11 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R3.6 改訂 R3.12 改訂 R5.12 改訂 R7.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
メソトレキセート (methotrexate)	30mg/m ²	i. v.	day1, 15, 22
エクザール (vinblastine)	3mg/m ²	i. v.	day2, 15, 22
ドキソルビシン塩酸塩 (adriamycin)	30mg/m ²	i. v.	day2
シスプラチン (cisplatin)	70mg/m ²	div.	day2

4週毎

adjuvant回数、評価可能病変があるかによりコース数は変わる。

Regimen

内服	アプレピタントカプセル及びデカドロン錠を併用する。 day2 アプレピタントカプセル125mg 化学療法前 1回	2 時間	側⑤生理食塩液 500mL 1B シスプラチン ()mg
			メイン②ソルアセトF 500mL 1B 側⑥(メイン②と並行して投与) 生理食塩液100mL 1B フロセミド注20mg 1A
内服	day3、4 アプレピタントカプセル80mg分1 朝食後 day3～5 デカドロン錠8mg分1～2 食後	4 時間 全開 (5分)	側⑦グラニセトロン点滴静注バッグ1mg 1B
		30 分	メイン③ヴィーン3G 500mL 1B
4 時間	day1 メイン①ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1A	4 時間	メイン④ソルアセトF 500mL 1B
		4 時間	メイン⑤ヴィーン3G 500mL 1B メイン⑥ソルアセトF 500mL 1B
4 時間 60 分	メイン②ソルアセトF 500mL 1B 側①(メイン②と並行して投与) 生理食塩液 100mL 1B メソトレキセート ()mg	4 時間	day14、21 22時より メイン①ソルアセトF 500mL 1B メイン②ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1A
		6 時間	メイロン 20mL 1A
5 分 4 時間	側②生理食液 50mL 1B メイン③ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1A	6 時間	day15、22 メイン①ソルアセトF 500mL 1B ※前日に病棟へ払出す
		6 時間	側①(メイン①と並行して投与) 生理食塩液 100mL 1B メソトレキセート ()mg
4 時間 4 時間	メイン④ソルアセトF 500mL 1B メイン⑤ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1A	60 分	メイン②生理食塩液 100mL 1B メイロン 20mL 1A
		30 分	メイロン 20mL 1A
4 時間 30 分	メイン⑥ソルアセトF 500mL 1B day2 メイン①ヴィーン3G 500mL 1B 側①(メイン①と並行して投与)	30 分	側②生理食塩液 100mL 1B エクザール ()mg
		5 分	側③生理食塩液 50mL 1B
30 分	グラニセトロン点滴静注バッグ1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V デキサート注 1.65mg 2A	6 時間	メイン②ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1A
		6 時間	メイン③ソルアセトF 500mL 1B
30 分	側②生理食塩液 100mL 1B エクザール ()mg	備考	
			<推奨制吐剤>現行に追加 オランザピン OD錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day2～5 ・オランザピン OD錠は内服処方オーダー ・オランザピン OD錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌
30 分	側③生理食塩液 100mL 1B ドキソルビシン塩酸塩 ()mg	【レジメンシステム登録】	【レジメンシステム登録】
			14001-1A M-VAC 療法(側管)
30 分	側④(メイン①を止めて投与) マンニットールS 300mL 1B		・アプレピタントはレジメン内の処方に登録 ・デカドロン錠は適宜処方内服オーダー

14002

膀胱・腎孟・尿管癌

TCG療法

申請科

泌尿器科

改訂H28.1 H28.9 H29.6 H30.11 R2.6 R3.5 R3.6 R3.12 R4.3 R5.12 改訂 R6.10 改訂 R7.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
パクリタキセル (paclitaxel)	80mg/m ²	div. (1h)	day2, 9
シスプラチン(CDDP) (cisplatin)	70mg/m ²	div. (2h)	day2
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1000mg/m ²	div. (30min)	day2, 9

3~4週毎 1~6ケール

膀胱癌の標準的化学療法 M-VAC、MVP-CAB、MEC が無効もしくは効果が期待できないときに。

Regimen

内服	アプレピタントカプセル及びデカドロン錠を併用する。 day2 アプレピタントカプセル125mg 化学療法前 1回	5 分 6時間 6時間 6時間	側⑦生理食塩液 50mL 1B メイン②ヴィーン3G 500mL 1B emain③ソルアセトF 500mL 1B emain④ヴィーン3G 500mL 1B
			day9
内服	day3、4 アプレピタントカプセル80mg分1 朝食後 day3~5 デカドロン錠8mg分1~2 食後	15 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B デキサート注 6. 6mg 2V デキサート注 1. 65mg 2A ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A
			側①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B 側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液()mg
6時間	day1 メイン①ソルアセトF 500mL 1B メイン②ヴィーン3G 500mL 1B	30 分	側③5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用()mg
			側④生理食塩液 50mL 1B
6時間	day2 メイン①ソルアセトF 500mL 1B ※前日に病棟に払い出す	60 分	備 考
			・day2 の側②と day9 の側①はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。
15 分	側①(メイン①と並行して投与) 生理食塩液 50mL 1B デキサート注 6. 6mg 2V デキサート注 1. 65mg 2A ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A	30 分	<推奨制吐剤>現行に追加 オランザピン OD 錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day2~5 ・オランザピン OD 錠は内服処方オーダー
			・オランザピン OD 錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌
30 分	側②グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B 側③5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液()mg	5分	【レジメンシステム登録】 14002-1A TCG療法 ・1ケール4週間で登録
			・アプレピタントはレジメン内の処方に登録 ・デカドロン錠は適宜処方内服オーダー
60 分	側④5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用()mg	30 分	
30 分	側⑤(メイン①を止めて投与) マンニットール S 300mL 1B	30 分	
2 時間	側⑥生理食塩液 500mL 1B シスプラチン注()mg	2 時間	

14003

膀胱・腎孟・尿管癌

MEC療法

申請科

泌尿器科

H28.1改訂 H30.6 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R3.6 改訂 R3.12 改訂 R5.12 改訂 R7.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
メソトレキセート (methotrexate)	30mg/m ²	i. v.	day1、15
エピルビシン塩酸塩 (epirubicin)	50mg/m ²	i. v.	day1
シスプラチナ (cisplatin)	50mg/m ²	div.	day2、3

3~4週毎

adjuvant回数、評価可能病変があるかによりコース数は変わる。 動注併用することもある。

Regimen

内服	アプレビタントカプセル及びデカドロン錠を併用する。 day2 アプレビタントカプセル125mg 化学療法前 1回 day3、4 アプレビタントカプセル80mg分1 朝食後 day3～5 デカドロン錠8mg分1～2 食後	30 分 2 時間 全開 (5 分) 30 分	側②(メイン①を止めて投与) マンニットールS 300mL 1B 側③生理食塩液 500mL 1B シスプラチナ注 ()mg 側④生理食塩液 100mL 1B フロセミド注 20mg 1A
			day1 メイン①ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1A メイン②ソルアセトF 500mL 1B 30 分 側①(メイン②と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V 側②生理食塩液 100mL 1B メソトレキセート ()mg 側③生理食塩液 100mL 1B エピルビシン塩酸塩 ()mg 側④生理食塩液 50mL 1B 4 時間 メイン③ヴィーン3G500mL 1B メイロン 20mL 1A 4 時間 メイン④ソルアセトF 500mL 1B メイロン 20mL 1A 4 時間 メイン⑤ヴィーン3G500mL 1B メイロン 20mL 1A 4 時間 メイン⑥ソルアセトF 500mL 1B day2、3 メイン①ヴィーン3G 500mL 1B 側①(メイン①と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V デキサート注 1. 65mg 2A
4 時間		5 時間 5 時間	メイン②ソルアセトF 500mL 1B メイン③ヴィーン3G500mL 1B メイン④ソルアセトF 500mL 1B メイン⑤ヴィーン3G500mL 1B
			day15 メイン①ソルアセトF 500mL 1B メイロン 20mL 1A 側①(メイン①と並行して投与) 生理食塩液 100mL 1B メソトレキセート ()mg 側②生理食塩液 50mL 1B 4 時間 メイン②ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1A 4 時間 メイン③ソルアセトF 500mL 1B
30 分		30 分 4 時間	備 考
			<p><推奨制吐剤>現行に追加 オランザピン OD錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day2～6 ・オランザピン OD錠は内服処方オーダー ・オランザピン OD錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌</p> <p>【レジメンシステム登録】 14003-1A MEC療法 ・1ケール4週間で登録 ・アプレビタントはレジメン内の処方に登録 ・デカドロン錠は適宜処方内服オーダー</p>

14004

膀胱・腎孟・尿管癌

CBDCA+GEM 併用療法

申請科

泌尿器科

H27.7改訂 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.11 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R7.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
カルボプラチン (carboplatin)	AUC=5	div. (2h)	Day1
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1000mg/m ²	div. (30min)	Day1, 8

4週毎

1~7ケール

化療ペット予約:day1 は 3 時間 30 分、day8 は 1 時間 30 分で登録

Regimen

3 時間	day1 メイン①ソルデム3A 500mL 1B		
30 分	側①(メイン①と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		
30 分	側②5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ()mg	備 考	
2 時間	側③生理食塩液 500mL 1B カルボプラチン ()mg	< CBDCA AUC≥4 中等度:推奨制吐剤 > 現行に追加 アプレピタント 125mg 1CP 分1 化学療法前 アプレピタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day2、3 デカドロン錠 4mg 1錠 分1 day2、3	
5 分	側④生理食塩液 50mL 1B	・アプレピタント、デカドロン錠は内服処方オーダ ・アプレピタント処方する場合はデキサート注を 3.3mg (1.65mg2A)に変更	
1 時間	day8 メイン①ソルデム3A 500mL 1B		
30 分	側①(メイン①と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		
30 分	側②5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ()mg	【レジメンシステム登録】	
5 分	側③生理食塩液 50mL 1B	14004-1A CBDCA+GEM 併用療法 14004-2A CBDCA+GEM 併用療法 (Day8 単回投与) ・day8 用(GEMのみ)	

14006	尿路上皮癌	CBDCA+GEM(Low dose) 併用療法	申請科 泌尿器科
-------	-------	-----------------------------	-------------

H23.1 登録 H.27.7 改訂 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.11 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R7.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
カルボプラチナ (carboplatin)	AUC=5	div. (2h)	Day1
ゲムシタビン (Gemcitabine)	500mg/m ²	div. (30min)	Day1, 8

4週毎

化療ベット予約:day1は3時間30分、day8は1時間30分で登録

Regimen

3 時間	day1 メイン①ソルデム3A 500mL 1B	
30 分	側①(メイン①と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V	
30 分	側②5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ()mg	備 考
2 時間	側③生理食塩液 500mL 1B カルボプラチナ ()mg	< CBDCA AUC \geq 4 中等度:推奨制吐剤 > 現行に追加 アプレピタント 125mg 1CP 分1 化学療法前 アプレピタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day2、3 デカドロン錠 4mg 1錠 分1 day2、3
5分	側④生理食塩液 50mL 1B	・アプレピタント・デカドロン錠は内服処方オーダ ・アプレピタント処方する場合はデキサート注を 3.3mg (1.65mg/2A)に変更
1 時間	day8 メイン①ソルデム3A 500mL 1B	
30 分	側①(メイン①と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V	
30 分	側②5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ()mg	【レジメンシステム登録】 14006-1A CBDCA+GEM(Low dose)併用療法
5分	側③生理食塩液 50mL 1B	

14007

尿路上皮癌

GCis(GEM+CDDP併用)療法

申請科

泌尿器科

H27.7 改訂 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.11 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R3.6 改訂 R3.12 改訂 R7.6 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1000mg/m ²	div. (30min)	Day1、8、15
シスプラチン (cisplatin)	70mg/m ²	div. (2h)	Day2

4週毎

効果なくなるまで

Regimen

内服	アプレピタントカプセル及びデカドロン錠を併用する。 day2 アプレピタントカプセル125mg 化学療法前 1回 day3、4 アプレピタントカプセル80mg分1 朝食後 day3～5 デカドロン錠8mg分1～2 食後	30 分	側②(メイン②を止めて投与) マンニットールS 300mL 1B
		2 時間	側③生理食塩液500mL 1B シスプラチン注 ()mg 側④生理食塩液 50mL 1B
内服	day1、8、15 90 分 メイン①ソルデム3A 500mL 1B 30 分 側①(メイン①と並行して投与) 生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6. 6mg 1V	5 分 6 時間 6 時間 6 時間	メイン③ソルデム6 500mL 1B メイン④ソルアセトF 500mL 1B メイン⑤ソルデム6 500mL 1B
30 分	側②5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ()mg		備 考
5 分	側③生理食塩液 50mL 1B		<推奨制吐剤>現行に追加 オランザピンOD錠 5mg 1錠 分1 夕食後 day2～5 ・オランザピンOD錠は内服処方オーダ ・オランザピンOD錠は糖尿病患者及び糖尿病の既往のある患者には禁忌
2 時間	day2 メイン①ソルアセトF 500mL 1B		【レジメンシステム登録】 14007-1A GCis(GEM+CDDP併用)療法
6 時間	メイン②ソルアセトF 500mL 1B		・アプレピタントはレジメン内の処方に登録 ・デカドロン錠は適宜処方内服オーダ
30 分	側①(メイン②と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6mg デキサート注1. 65mg	1V 2V	

14009	尿路上皮癌	THP+CDDP 動注 化学放射線療法	申請科 泌尿器科
-------	-------	------------------------	-------------

H23.10 登録、H27.7 改訂、H.28.6 改訂 H30.11 改訂 科別(泌尿器科)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
フルツロン (5'-DFUR)	200mg	p. o. (1日3回)	Day1~14 連日
ピノルビン THP (pirarubicin)	10mg／body	動注	Day1、8
シスプラチニ CDDP (cisplatin)	20mg／body	動注	Day1
Radiation	2Gy × 5Day／週		

2週毎

投与回数は放射線照射の回数により変動

Regimen

内服	day1～14 連日 フルツロン(200mg) 3C 分3	動注	Day8
			動注①生理食塩液20mL フラッシュ
動注	day1 動注①生理食塩液20mL 1本 フラッシュ	動注 one shot	動注②生理食塩液 20mL ピノルビン 10mg 1V
			動注③ヘパリン Na ロック用(100 単位/mL) 10mL 1本
動注 one shot	動注③シスプラチニ 10mg 2V	備 考	※薬剤部調製時はシリンジで払い出し
			【レジメンシステム登録】 14009-1B THP+CDDP動注化学放射線療法 フルツロンは内服処方オーダー

14010

膀胱·腎盂·尿管癌

M-VAC25%動注併用療法

申請科

泌尿器科

H28.1 改訂 H29.12 改訂 H30.6 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R5.12 改訂 科別(泌尿器科)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
メソトレキセート (methotrexate)	22.5mg/m ² 7.5mg/m ²	i.v. i.a.	day1, 15, 22
エクザール (vinblastine)	2.25mg/m ² 0.75mg/m ²	i.v. i.a.	day2, 15, 22
ドキソルビシン塩酸塩 (adriamycin)	22.5mg/m ² 7.5mg/m ²	i.v. i.a.	day2
シスプラチン (cisplatin)	52.5mg/m ² 17.5mg/m ²	div. i.a.	day2

4週毎

adjuvant回数、評価可能病変があるかによりコース数は変わる。

Regimen

	day1					
4 時間	メイン①ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1V	30 分	側②生理食塩液 100mL 1B エクザール ()mg		100mL	1B
4 時間	メイン②ソルアセトF 500mL 1B	one shot	動注①生理食塩液 50mL 20mL エクザール ()mg		50mL	20mL
60 分	側①(メイン②と並行して投与) 生理食塩液 100mL 1B メソトレキセート ()mg	30 分	側③生理食塩液 100mL 1B ドキソルビシン塩酸塩()mg		100mL	1B
5 分	側②生理食塩液 50mL 1B	one shot	動注②生理食塩液 50mL 20mL ドキソルビシン塩酸塩()mg		50mL	20mL
one shot	動注①生理食塩液 50mL 20mL メソトレキセート ()mg シリンジに調製	one shot	シリンジに調製		()mg	
	動注②生理食塩液 20mL 1V ヘパリン Na 注 5mL 1V シリンジに調製	30 分	側④(メイン①を止めて投与) マンニットール S 300mL 1B			
4 時間	メイン③ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1V	2 時間	側⑤生理食塩液 500mL 1B シスプラチナ ()mg		500mL	1B
4 時間	メイン④ソルアセトF 500mL 1B	one shot	動注③シスプラチナ ()mg シリンジに調製		()mg	
4 時間	メイン⑤ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1V		動注④生理食塩液 20mL 1本 ヘパリン Na 注 5mL 1V		20mL	1 本
4 時間	メイン⑥ソルアセトF 500mL 1B		シリンジに調製			
	day2	4 時間	メイン②ソルアセトF 500mL 1B			
4 時間	メイン①ヴィーン3G 500mL 1B	全開 (5 分)	側⑥(メイン②と並行して投与) 生理食塩液 100mL 1B フロセミド注20mg 1A		100mL	1B
30 分	側①(メイン①と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート6. 6mg 1V デキサート1. 65mg 2V	30 分 4 時間 4 時間 4 時間 4 時間	側⑦グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B メイン③ヴィーン3G 500mL 1B メイン④ソルアセトF 500mL 1B メイン⑤ヴィーン3G 500mL 1B emain⑥ソルアセトF 500mL 1B		1mg	1B

	day14、21 22時より メイン①ソルアセトF 500mL 1B emain②ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1V		
6 時間	day15、22 emain①ソルアセトF 500mL 1B ※前日に病棟へ払出す		
6 時間	側①(emain①と並行して投与) 生理食塩液 100mL 1B メソトレキセート ()mg		
60 分	動注①生理食塩液 50mL 20mL メソトレキセート ()mg シリンジに調製		
one shot	側②生理食塩液 100mL 1B エクザール ()mg		
3	側③生理食塩液 50mL 1B 動注②生理食塩液 50mL 20mL エクザール ()mg シリンジに調製		
0 分	動注③生理食塩液 20mL 1本 ヘパリン Na 注 5mL 1V シリンジに調製		
5 分	emain②ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1A		
one shot	emain③ソルアセトF 500mL 1B		
備 考			
【レジメンシステム登録】 14010-1B M-VAC25%動注併用療法			

14012

膀胱・腎孟・尿管癌

MEC 動注療法

申請科

泌尿器科

H28.1改訂 H30.6 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R5.12 改訂 科別(泌尿器科)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
メソトレキセート (methotrexate)	30mg/m ²	動注	day1、15
エピルビシン塩酸塩 (epirubicin)	50mg/m ²	動注	day1
シスプラチニン (cisplatin)	50mg/m ²	動注	day2、3

3~4週毎

Regimen

4 時間	day1	メイン①ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1V	全開	emain④生理食塩液 100mL 1B
				フロセミド 20mg 1A
30 分	one shot	メイン②グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V	4 時間	emain⑤ソルアセトF 500mL 1B
				emain⑥ヴィーン3G 500mL 1B
4 時間	one shot	動注①生理食塩液50mL 20mL メソトレキセート ()mg シリンジに調製	4 時間	emain⑦ソルアセトF 500mL 1B
				emain⑧ヴィーン3G 500mL 1B
4 時間	one shot	動注②生理食塩液50mL 20mL エピルビシン塩酸塩()mg シリンジに調製	4 時間	emain⑨ソルアセトF 500mL 1B
				day15
4 時間	one shot	emain③ソルアセトF500mL 1B emain④ヴィーン3G 500mL 1B	4 時間	emain①ソルアセトF 500mL 1B
				メイロン 20mL 1V
4 時間	one shot	emain⑤ソルアセトF500mL 1B emain⑥ヴィーン3G 500mL 1B	one shot	動注①生理食塩液50mL 20mL メソトレキセート ()mg シリンジに調製
				emain②ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1V
4 時間	one shot	emain⑦ソルアセトF500mL 1B	4 時間	emain③ソルアセトF 500mL 1B
4 時間	one shot	day2、3 emain①ヴィーン3G 500mL 1B	備 考	
30 分	one shot	emain②グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート 6. 6mg 1V デキサート注1. 65mg 2A	【レジメンシステム登録】 14012-1B MEC 動注療法 1ケール3週間で登録	
30 分	one shot	emain③マンニットールS300mL 1B 動注①シスプラチニン ()mg シリンジに調製		

14799

膀胱癌

(膀胱注入用)ピノルビン療法

申請科

泌尿器科

H24.8 登録、H26.4 改訂 H30.6 改訂 科別(泌尿器科)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ピラルビシン (pirarubicin)	30mg／body	膀胱内注入	day1

便宜上1日

Regimen

膀胱内 注入	day 1		
	膀注①大塚食塩液 20mL 2本 ピノルビン注射用 10mg 3V ※ピノルビン 3Vを生理食塩液 30mL で希釈し、全量を 30mL として払い出し シリンジに調製 ※OP 室に払い出し (※外来用は外来化学療法室に払い出し) ※膀胱内注入、【禁】注射 ※医師が投与		

備 考

※薬剤部で調製を行うにあたり、化学療法患者一覧への表示、実施確認が可能となるようレジメンとしての登録。
 ※手術室の汚染および医療従事者の被ばく防止のため薬剤部で調製作業を実施することとなった。
 ※2018年6月委員会にて承認
 -溶解液を蒸留水から生食へ変更
 -全量 40mL から 30mL へ変更
【レジメンシステム登録】
 14799-1B (膀胱内注入)ピノルビン療法
 14799-2B 外来用(膀胱内注入)ピノルビン療法

14014	尿路上皮癌	ペムブロリズマブ療法 (尿路上皮)	申請科 泌尿器科
-------	-------	----------------------	-------------

H30.2 登録 H31.1 改訂 R2.12 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1ケール)
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg/body	div.(30 分)	day1

3週毎

可能な限り継続

化療ベット予約:1 時間で登録

Regimen

5 分 30 分 全開 (5 分)	day1		
	メイン①生理食塩液 50mL	1B	
	側①生理食塩液 100mL キイトルーダ 100mg	1B 2V	
	側②生理食塩液 50mL	1B	
備 考			
<ul style="list-style-type: none"> ・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5 μ m)を使用すること ・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mLとなるように調製すること ・30分間かけて点滴静注すること ・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。 <p>【レジメンシステム登録】</p> <p>14014-1A ペンブロリズマブ療法(尿路上皮) R2.12 バイタルサインのモニターはキイトルーダとして初回投与時と記載変更</p>			

R2.12 登録

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
14015-1A	共通	膀胱癌・腎盂癌・尿管癌	<u>ペムブロリズマブ倍量療法 (400mg) (尿路上皮)</u>	泌尿器科
適応患者				
病期(stage)； 化学療法後に再発又は進行した局所進行性もしくは転移性の尿路上皮癌患者 I IIa IIb IIIa IIIb IV P S ; 0 ~ 2 (2 まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他 ()	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	400mg/body	div 30分	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	6週毎・増悪まで	化療ベット予約： 1 時間で登録		
Radiation併用 有・無	1回 Gy ×	日、 Total	Gy ×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5分 30分 全開 (5分)	Day1		<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> キイトルーダ投与にあたり、インライタフィルター(0.2~5μm)を使用すること キイトルーダ希釈液の点滴溶解中の最終濃度は1~10mg/mlとなるように調整すること 30分かけて点滴静注すること infusion reactionが発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること <p>【レジメンシステム登録】</p> <p>14015-1A ペムブロリズマブ 倍量療法 (400mg) (尿路上皮)</p>	

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
14016-1A	共通	尿路上皮癌(膀胱癌・腎盂癌・尿管癌)	エンホルツマブ ベドチン療法	泌尿器科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()	
PS; ~ (まで)				
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ペット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
パドセブ (Enfortumab Vedotin)	1.25mg/kg (上限 125mg)	Div (30 分)	Day1、8、15	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4週毎・回	化療ペット予約: 1時間で登録		
Radiation 併用 有・無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	備考		
5分	day1, 8, 15 メイン①生理食塩液 50mL 1B			
30分	側①生理食塩液 50mL 1B パドセブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (パドセブは必要量の蒸留水で溶解しています)	<p>・パドセブは 1V を蒸留水(点滴静注用 20mg:2.3mL、点滴静注用 30mg:3.3mL)で溶解し、必要量抜き取り、生理食塩水 50mL に希釈する。</p> <p>・蒸留水は体重換算の量で登録 $1.25\text{mg/kg} \rightarrow 0.125\text{mL/kg}$</p> <p>・パドセブ希釈後の点滴溶液中の最終濃度が 0.3~4.0mg/mL となるように調製すること</p> <p>・30分以上かけて点滴静注すること</p> <p>・パドセブにより infusion reaction が発現することがあるため、初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</p>		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B	<p>【レジメンシステム登録】</p> <p>14016-1A エンホルツマブ ベドチン療法</p>		

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
14017-1A	共通	膀胱癌、尿管癌、腎盂癌	<u>ニボルマブ療法(240mg)(尿路上皮)</u>	泌尿器科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; 0~2 (まで)			<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投回事数(クール数)、化療ペット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
オプジー ^ボ (Nivolumab)	240mg/body	Div(30 分)	Day1	
インターバル日数・ 最大投回事数(End point)	2週毎・24回	化療ペット予約: 1.0 時間で登録		
Radiation併用 有・無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5分	day1		備考 ・オプジー ^ボ 投与にあたり、インラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を使用すること。 ・オプジー ^ボ 希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 0.35mg/mL 以上、総液量は 60mL 以上を目安とすること。 なお、希釈する場合、総液量は体重 30kg 以上の患者には 150mL 以下、体重 30kg 未満の患者には 100mL 以下とする必要があるため、体重 30kg 未満の場合にはボトルから生食 30mL を抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。 ・30 分以上かけて点滴静注すること。 ・オプジー ^ボ により infusion reaction が発現することがあるため、オプジー ^ボ として初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。	
	① 生理食塩液 50mL 1B			
	② 生理食塩液 100mL 1B			
	オプジー ^ボ 240mg 1 V			
30分	③ 生理食塩液 50mL 1B			
5分 (全開)				

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
14018-1A	共通	膀胱癌、尿管癌、腎盂癌	<u>ニボルマブ倍量療法(480mg)(尿路上皮)</u>	泌尿器科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; 0~2 (まで)			<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ペット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
オプジー ^ボ (Nivolumab)	480mg/body	Div(30分)	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4週毎・12回	化療ペット予約: 1.0 時間で登録		
Radiation併用 有・無	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5分	day1			
	① 生理食塩液 50mL 1B		備考	
	② 生理食塩液 100mL 1B			
	オプジー ^ボ 240mg 2V			
5分 (全開)	③ 生理食塩液 50mL 1B		<ul style="list-style-type: none"> ・オプジー^ボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること。 ・オプジー^ボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は0.35mg/mL以上、総液量は60mL以上を目安とすること。なお、希釈する場合、総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下とする必要があるため、体重30kg未満の場合はボトルから生食30mLを抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。 ・30分以上かけて点滴静注すること。 ・オプジー^ボによりinfusion reactionが発現するがあるため、オプジー^ボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。 <p>【レジメンシステム登録】</p> <p>14018-1A ニボルマブ倍量療法(480mg)(尿路上皮癌)</p>	

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
14019	共通	根治切除不能な 尿路上皮癌	<u>エンホルツマブ・ベドチン</u> <u>+ペムブロリズマブ療法</u>	泌尿器科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb ⑩ PS; ~ (2まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量		投与経路及び時間	投与方法(1クール)
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg/body		div 30分	Day1
パドセブ (Enfortumab Vedotin)	1.25mg/kg (上限 125mg)		div 30分	Day1、8
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・回		化療ベット予約: 1.5時間で登録	
Radiation 併用 有・ ○	1回 Gy × 日、 Total Gy × Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート		備考	
5分	Day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B		・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5μm)を使用すること	
30分	側①生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V		・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mLとなるように調製すること	
15分	側②生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6 mg 1V		・キイトルーダは30分かけて点滴静注すること ・パドセブは1Vを蒸留水(点滴静注用 20mg:2.3mL、点滴静注用 30mg:3.3mL)で溶解し(10mg/mL)、必要量抜き取り、生理食塩液 50mLに希釈する。	
30分	側③生理食塩液 50mL 1B パドセブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (パドセブは必要量の蒸留水で溶解しています)		・蒸留水は体重換算の量で登録 1.25mg/kg→0.125mL/kg ・パドセブ希釈後の点滴溶液中の最終濃度が0.3~4.0mg/mLとなるように調製すること	
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B		・パドセブは30分以上かけて点滴静注すること	
5分	Day8 メイン①生理食塩液 50mL 1B		・キイトルーダ、パドセブにより infusion reaction が発現することがあるため、初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること	
15分	側①生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6 mg 1V		・デキサート注はパドセブによる皮膚障害予防	
30分	側②生理食塩液 50mL 1B パドセブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (パドセブは必要量の蒸留水で溶解しています)		【レジメンシステム登録】 14019-1A エンホルツマブ・ベドチン +ペムブロリズマブ 療法	
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B			

がん化学療法レジメン申請書（新規・更新）（様式2） 2025年6月登録

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
14020-1A	共通	根治切除不能な 尿路上皮癌	<u>アベルマブ維持療法(尿路上皮)</u>	泌尿器科
適応患者				
病期(stage) ; I IIa IIb IIIa IIIb IV P S ; 0~1 (まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他 ()	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
バベンチオ (Avelumab)	10mg/kg	div(60分)	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2週毎・ 効果なくなるまで	化療ベット予約 : 2時間で登録		
Radiation併用 有・無	1回 Gy ×	日、 Total	Gy ×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
15分	Day1 メイン①アセリオ点滴静注液 1000mg 0.5B			
30分	メイン②生理食塩液 100mL ポララミン注 5mg	1B 1A		
60分	側①生理食塩液 250mL バベンチオ 200mg () mg	1B	備考	
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL	1B	<p>※infusion reaction 軽減目的のアセリオ及びポララミンはバベンチオ投与開始の30~60分前に投与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> バベンチオにより infusion reaction が発現することがあるため、バベンチオとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。 バベンチオ投与にあたり、インラインフィルター0.2μmを使用すること。 バベンチオは60分かけて点滴静注すること。 <p>【レジメンシステム登録】 14020-1A アベルマブ維持療法(尿路上皮)</p>	